



ソーシャル時代の「ニュース」と格闘する

■ 伊藤 儀雄

◎ ニュース価値とは何か

「その記事，何がニュースなんだっけ？」

「Yahoo! ニュース」編集部で頻繁に飛び交う言葉だ。Yahoo! JAPAN のトップページを訪れると，目に入ってくる 8 本の見出し。1 日 4,000 本のニュースの中から，価値の高いニュースを選びだし，13 文字の見出しをつけるのが編集部の仕事だ。元新聞記者，放送記者といったメディアでの経験を積んだ者など，およそ 25 人の編集部員が 24 時間 365 日，刻々と移り変わるニュースに目を光らせ，13 文字の見出しと格闘している。13 文字より長いと理解するのに時間がかかってしまい，短いと意味が伝わらなくなってしまう。限られた文字数の中に，最も伝えるべき要素を過不足なく盛り込むことに，頭を使う。

編集部員が気にしているのは「多くの人に届けるべきニュースは何か？」ということ。4,000 本の中から，トップページに掲載できるのは 100 本ほどのみ。トップに掲出されたニュースとそうでないニュースでは，実際に目にする人数が格段に違ってくる。それだけに，何を載せるのかという編集部の価値判断が大きな意味を持つ。「Yahoo! ニュース」のページビューは月間 100 億以上。影響力が大きいからこそ，「ニュース価値とは何か」ということを日々突き詰めるための議論が欠かせない。

◎ 情報の多様化と情報摂取のためのコスト

ソーシャルメディア時代の現在，インターネット上に飛び交う情報の量は，爆発的に増え

■ 伊藤 儀雄
「Yahoo! ニュース」編集部リーダー

1982年生まれ。東京大学経済学部卒業。2005年中日新聞社入社。名古屋本社整理部を経て、愛知県瀬戸支局、富山支局で警察、司法、行政を担当。2009年5月にヤフー（株）入社。「Yahoo! ニュース」の編集に携わる。2011年10月からニュース編集部リーダー。



続けている。テキストだけでなく、画像や動画が日々アップされ、新しいメディアが次々と誕生する。一生かかっても消費しきれない情報が、日々生産されている。

多様な情報に簡単に触れられるようになった一方で、正しい情報よりも間違っただけの方が拡散されることもたびたび起きているような現状がある。ある事件で「逮捕につながる情報を寄せた情報提供者に本来支払われるべき捜査報奨金が支払われない」という趣旨で真偽不明の情報が拡散したことがあった。その後、支払われることが決まったことが報道されたが、こちらのニュースはほとんど拡散されなかった。

自分にとって知るべき情報や確かな情報を選びとるために、よりコストがかかるようになっていともいえるだろう。

◎ 編集とテクノロジー

膨大な情報を処理し、人々が効率よく情報を摂取できるようにするために重要なのが、編集とテクノロジー。世の中のさまざまな出来事に対して価値判断をして重要性の序列をつけること、理解しやすいように情報を加工すること、情報の信用性や偏りをジャッジすることなどは、人の手を要する編集が得意な分野といえる。

一方、膨大な情報を解析して選り分けたり、ユーザの属性や興味関心に基づいて個別に情報を出し分けたりすることは、テクノロジーが得意とする分野だ。その2つを上手く使いながら、ユーザが情報を摂取するときに、ストレスを感じないようにすることが、ニュースを扱う事業者の使命であると考えている。

